

「総合的な英語力」を育てる English Rich な授業

グッドプラクティス・アワード 募集

応募締め切り: 2026 年 3 月 31 日

ブリティッシュ・カウンシル主催



英語教員の皆さまへ ご応募をお待ちしております！

この 10 年で学校の英語教育は大きく変わりました。生徒が英語を使って自分の経験や思いを伝えたり、他者と意見交換するなど、様々な言語活動を通じて、生徒の英語で「できること」が増えている様子が各方面で伝えられています。

ブリティッシュ・カウンシルはこれまで文部科学省や教育委員会等と協働し、日本全国で実践的な指導力研修を数多く展開し、English Rich な授業づくりを推進してきました。研修を受講された先生方からは、「生徒の学習意欲が上がった」「即興で話す力がついてきた」等、授業改善の成果を伝える声を多く頂戴してきました。

これらの変化は、先生方ご自身が使う英語や指導技術を工夫し、生徒の学習意欲を高め、達成感を味わえるように、授業改善を重ねてこられた成果にほかなりません。

今回の募集においては、先生方が日々の授業で、どのような工夫や配慮をされたのか、また取り組みを通してどのような成果を感じられたのかを、実例とともにぜひお寄せいただきたいと思います。先生方からご報告は、日本各地で、子どもたちの「総合的な英語力」育成を着実に進めていくための、貴重な学びであり大きなステップとなります。皆さまのご応募を心よりお待ちしております。

*English Rich な授業とは、教師・生徒の双方が豊かに英語を使用している授業のこと。効果的な日本語使用を含め、教師の使用する英語が質・量ともに充実することで、教室での言語活動が活発に行われます。

[English Rich な授業づくり | ブリティッシュ・カウンシル](#)

学習指導要領では、「(略)授業を実際のコミュニケーションの場面とするため、授業は英語で行うことを基本とする。その際、生徒の理解の程度に応じた英語を用いるようにすること」とされており、同等の趣旨が盛り込まれています。

募集概要	<p>学習指導要領(外国語科)においては、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと[やり取り]」、「話すこと[発表]」、「書くこと」の 4 技能 5 領域で、CEFR を参照した目標や活動例が設定されています。そして、「知識及び技能」と「思考力、判断力、表現力等」を一体的に育成する過程を通して、実際のコミュニケーションの場面で活用できる総合的な英語力を育成することとなっています。中学校・高等学校では、授業は英語で行うことが基本です。これは授業を「生徒が英語を使う場」にすることを目的としています。そのため、対話的な活動、言語活動や技能を統合的に扱う活動を中心とした授業となることが求められています。</p> <p>学校では、学習指導要領の趣旨に沿った、コミュニケーション重視の授業改善が進んでいます。政府の定める CEFR の目標値に到達する生徒の割合は増加傾向にあり、文部科学省や自治体等の学力調査、英語の資格・検定や進路実現においても成果が見られるという報告が数多く寄せられています。大学入試に関しても、共通テストにおいては実際のコミュニケーションを想定した明確な目的や場面、状況の設定を重視しています。</p> <p>その一方、「話すこと」や「書くこと」の発信力について課題が報告されています。特に中学校では、小学校と接続した「書くこと」の指導への悩みが聞かれます。また高校においては言語活動が高度化する中、「やり取り」について効果的な指導方法に課題を感じている声があります。改善の成果においても、地域間格差が報告されています。</p> <p>この度、以上の状況を踏まえ、4 技能 5 領域において「実際のコミュニケーションで活用できる総合的な英語力」育成を行っている、English Rich な授業の実践事例を募集します。English Rich な授業では、教師と生徒の双方が英語を使用し、特に教師の英語の質が充実しており、授業の進め方に様々な工夫や配慮が見られます。そのような好事例を顕彰及び公開することにより、グローバル社会における日本の英語教育の進展に貢献する取り組みです。</p>
対象となる実践事例	4 技能 5 領域において、実際のコミュニケーションで活用できる総合的な英語力を育てる実践で、成果が見られる事例。
応募資格	中学校・高等学校・中等教育学校・義務教育学校(後期課程)・特別支援学校(中等部・高等部)で指導する教師。学校単位でも可。
賞	<ul style="list-style-type: none"> ・ベストプラクティス・アワード 特に関心ある実践 5 例程度に商品券 3 万円(VISA ギフトカード) ・グッドプラクティス・アワード 優れた実践 30 例程度に記念品 <p>ご応募いただいた方全員に参加記念品をお送りします。</p>
審査方法	名古屋外国語大学教授太田光春氏(元文部科学省初等中等教育局視学官)を含む専門家による選考委員会が審査します。
募集締切	2026 年 3 月 31 日
応募必要事項	<p>タイトル(20 字程度)、授業実践の概要(200 字以内)、授業実践の詳細(1000 字程度)、授業実践の成果(定性的・定量的な観点から 1000 字程度)、今後の展望等。詳細はウェブサイトをご覧ください。</p> <p>※先生方がどのような指導上の工夫をされたのか、その結果生徒にどのような変化が見られたのか等を具体的にご報告ください。</p>
詳細・応募	https://www.britishcouncil.jp/programmes/english-education/award 
その他	応募いただいた内容は、「事例集」に掲載させていただくことがございます。詳細は当アワードのウェブサイトをご覧ください。